



学校だより

教育は愛

令和7年1月7日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 明けましておめでとうございます

13日間の冬休みはいかがでしたでしょうか。各教室では、年末年始の楽しかった思い出や今年の抱負などが、友だちや先生と熱心に語られていた様子です。

2025年も子どもたちのことを第1に考え、教職員で心をひとつにして、全力で教育活動を進めてまいります。

保護者、地域の皆様、本年も宜しくお願い致します。



◆ はじまりのおわり(まとめ)

3学期は、1年間の総まとめとなる学期です。よく言われているように1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」の例え通り、時の速度が加速します。

そして、3学期は1年間のおわり(まとめ)であると同時に、4月からの新しいはじまりへの大切な準備期間となります。

ですから、教職員も目の前の子どもたちの姿に4月からのスタートを思い浮かべながら指導しています。特に、6年生は4月から中学生です。担任の思いもひとしおです。

保護者の皆様も、4月からの新たなスタートに思いを馳せながら、ご家庭での生活習慣等を見直していただければ幸いです。



◆ 近隣校との連携

本年度の重点として取り組んでいる防災教育、特に首都直下地震における避難行動や引き渡しについては、兄弟姉妹関係も想定した中学校との連携が不可欠です。現在、本太中学校、北浦和小学校とは、3校合同の避難訓練実施に向けて議論を重ねているところです。また、市立浦和中・高等学校とは、学校運営協議会等で胸襟を開いて連携をしています。近隣校との連携は子どもたちの明るい未来へつながるものと確信しております。今年もさらに充実させてまいります。

◆ 愛語の実践

一度口から放たれた言葉は、やり直すことはできません。例え、言い直したとしても、最初に放たれた言葉の印象は相手の胸に深く刻まれてしまうこともあります。

特に感受性豊かな子どもたちへは、できるだけ丁寧で、あたたかい言葉を用いたいと考えます。愛語の実践です。愛語とは

心のこもった優しい言葉
愛情のこもったあたたかい言葉
親しみのある笑顔になる言葉

のことです。

※そして、私はもうひとつ、「元気になる言葉」を積極的に使いたいと考えています。

子どもたち、保護者・地域の皆様、そして教職員、みんなが元気になる言葉を日夜、研究しております。



◆ 「つもり十か条」

年末年始は、本棚に眠っていた本や今まで書きためたノートを読み返します。その中で、改めてメモした教訓がありました。「つもり十か条」です。

厚いと思って薄いのは人情
薄いと思って厚いのは面の皮
高いと思って低いのは教養
低いと思って高いのは気位

☆自省しながら頑張りたいと思います。

◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～